

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年6月5日】第167号



## 教育後援会「グラウンドで遊ぼう！」

5月28日(土)の午前中、1年生を対象とした「第1回 新1年生対象 グラウンドで遊ぼう！」が行われました。これは東京農業大学稲花小学校教育後援会によるイベントで、72名の1年生のうち50組以上の親子が参加して、楽しく過ごしました。お天気もよく、1年生の子どもたちは、思う存分にグラウンドで遊ぶことができたようです。日ごろは中々交流できない保護者同士が知り合う、よい機会となったことでしょう。当日は、株式会社農大サポートからの出店もあり、東京農大にゆかりのある農産物や食品などの販売も行われ、人気でした。

## 育っているかな

本校のテラスでは今、稲やインゲンマメなどが育っています。また、農大稲花小の畑では、ダイコン、ナス、エダマメなどが育っています。昨年度は灌水不足で枯死寸前になったり、ポットに雑草が生えてしまったりと、失敗もありました。植物とはいえ、生き物を管理するのは実は容易ではありません。幸い今年度は、教員も子どもたちもテラスに出て観察する機会も多く、成長は順調です。

一方、稲を播種したけれどまだ発芽していないという子どももいます。心配そうな顔をしていますが、ちょっと土を掘ってみると、あと少しで地上に出てくるふくらんだ種もみが見つかります。やや深く植えてしまった場合は、発芽まで少し時間がかかるのです。大丈夫、もう少し待ってください。

## 世界の稲

世界中に、稲は2万種類以上の品種があるそうです。1年生は東京農業大学入江憲治教授から稲について学び、種もみを播種しました。その入江先生から、先生のコレクションである世界の稲の種もみをお借りすることができ、図書室前に展示しています。

日本の品種では、子どもたちになじみのあるヒノヒカリなどの名前が見つかります。マンゲツモチのように、糯米の品種もあります。バングラデシュ、ネパール、ミャンマー、フィリピン、インドネシア、コートジボアールと海外の品種もあります。中にはびっくりするくらい長い芒(ぼう)をもつアフリカの野生稲を見ることもできます。

休み時間になると、品種の名前を読もうとする子、どこにある国か質問にくる子などがいます。それぞれに世界の稲を楽しんでいるようです。



### 鉄道教室

6月1日(木), 2年生の稲花タイムでは小田急電鉄株式会社からゲストティーチャーをお招きしての授業が行われました。昨年まではオンラインで行われていましたが, 今年度は教室での授業です。鉄道に興味のある子どもも多く, また, 小田急線だけでなく様々な公共鉄道を使っでの登下校も多い本校です。鉄道の役割や安全について, 学ぶところが多くあった様子でした。ゲストティーチャーには子どもたちの質問に丁寧に応えていただいたことに感謝しています。次週以降, 2年生は経堂駅を訪問させていただき, 駅の役割や安全管理についても学びます。

### 日本私立小学校連合会東京地区教員研修会

6月2日(金), 農大稲花小は休校でした。これは本校の全教員が, 研修に参加するためです。都内明星小学校を会場に終日行われた研修会には, 東京都内のほぼ全私立小学校の教員約 1500 名が参加したそうです。科目や活動ごとの部会に分かれて授業を見たり, 講演を聞いたり, 議論をしたりしながら, よりよい教育のための理解を深めました。

私立小学校にはそれぞれの歴史や教育理念があります。本校でも, 農大稲花小らしい教育を展開することを目指しています。そのためにも他校の情報を知ることは大きな助けになります。同時に本校では, 本校の教員がお互いの授業を見て学ぶ, 相互授業観察も行っています。5月には算数の授業について3回の相互授業観察を行い, 研鑽を積みました。

東京農業大学稲花小学校  
校長 夏秋 啓子